

## 成績の評価

成績の分析のしかたには、点数だけではなく、いわゆる「秀・優・良・可・不可」のような、点数をもとにした「評価」があります。次の図のように、W1～X6のセルに、評価の表を入力してください。

	W	X
1	点数	評価
2	0	不可
3	60	可
4	70	良
5	80	優
6	95	秀

## 個人の評価

入力した評価の表を元に、個人の評価を調べてみましょう。つまり「**評価の表の中から、個人の点数に最も近い項目を探し出す**」ということを行います。

このように、ある値を使って指定した範囲からデータを取り出すにはVLOOKUP関数を使います。

### VLOOKUP（指定された範囲の左端の列の値を検索し、見つかった行と同じ行の値を返す）

- 書式：VLOOKUP(検索値, 範囲, 列番号, 検索の型)
- 引数：検索値：範囲の左端列から検索したい値
- 引数：範囲：検索する範囲
- 引数：列番号：見つかった場合に返したい値の、範囲の左端から数えた列の数
- 引数：検索の型
  - TRUE：検索値に近い値を検索する
  - FALSE：検索値と完全に一致するものだけを検索する

検索の型に注目して、説明します。次のような表があるとします。

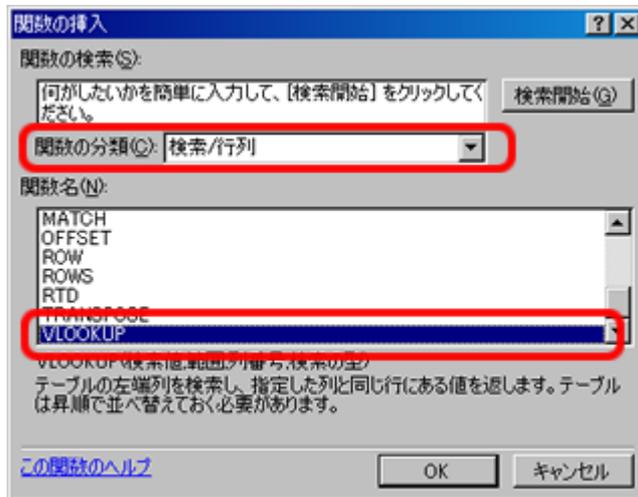
	A	B	C
1	値	検索範囲(x)	返り値
2	0	$0 \leq x < 10$	
3	10	$10 \leq x < 20$	
4	20	$20 \leq x < 30$	
5	30	$30 \leq x$	x

VLOOKUP関数を使って、左端の値から、右端（3列目）の記号を取り出すことを考えます。

- 「VLOOKUP(20, A1:C4, 3, FALSE)」とすると、「」が返ってきます。
- 「VLOOKUP(25, A1:C4, 3, FALSE)」とすると、「#N/A」（エラーの意味）が返ってきます。
- 「VLOOKUP(20, A1:C4, 3, TRUE)」とすると、「」が返ってきます。
- 「VLOOKUP(25, A1:C4, 3, TRUE)」とすると、「」が返ってきます。
  - 検索の型がTRUEのため、検索値25にもっとも近い値を探し出します。
  - そのとき、各値の意味が「自分の値以上、下の行の値未満」にかかります。
- 「VLOOKUP(40, A1:C4, 3, TRUE)」とすると、「x」が返ってきます。
  - 一番最後の行では「自分の値以上」という意味になります。

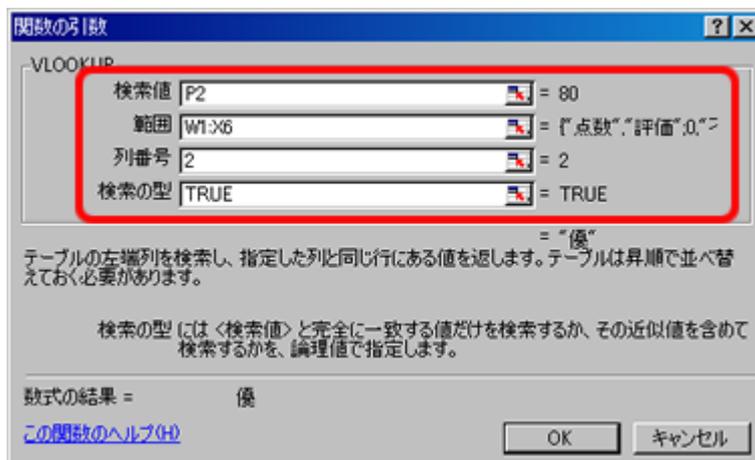
では、まずR1セルに「評価」と入力してください。そして、次のようにして、個人の評価を求めてください。

1. R2セルをクリック
2. 「関数の挿入」ボタンをクリック
3. 関数の選択
  - 「関数の分類」から「検索/行列」を選択
  - 「関数名」から「VLOOKUP」を選択
  - 「OK」ボタンをクリック



#### 4. 引数の設定

- a. 「検索値」の入力欄をクリックし、P2セルをクリック
- b. 「範囲」の入力欄をクリックし、W1～X6セル（評価の表）を範囲指定
- c. 「列番号」の入力欄に、「2」（評価の表の2列目という意味）を入力
- d. 「検索の型」の入力欄に、「TRUE」（近いものを検索する）を入力
- e. 「OK」ボタンをクリック



できあがった計算式をコピーするので、「範囲」がずれないように必ず絶対参照の「\$」記号を使って、計算式を書き換えてください。

書き換えできたら、R2セルの計算式をR3～R37までにコピーしましょう。

## 評価ごとの人数

個人の評価ができたので、評価ごとの人数を集計します。T20～U25セルに、次の図のように入力してください。

	T	U
20	評価	人数
21	不可	
22	可	
23	良	
24	優	
25	秀	

COUNTIF関数を使って、U21～U25セルに、「秀・優・良・可・不可」のそれぞれの人数を計算してください。

## 度数分布

次に、点数ごとの分布の状況を調べてみましょう。10点刻みの分布（度数分布）を計算します。T27～U37セルに、次の図のように入力してください。分布の意味は「10点以上、20点未満」という意味で、最後の行だけ「90点以上、100点以下」という意味になります。

	T	U
27	点数	人数
28	0～10	
29	10～20	
30	20～30	
31	30～40	
32	40～50	
33	50～60	
34	60～70	
35	70～80	
36	80～90	
37	90～100	

「～」という文字は、『から』と入力して日本語変換すると表示されます。

入力できたら、COUNTIF関数を使って、U28～U37のセルに分布を計算しましょう。ヒントは次のとおりです。

- U28セルの計算式は「=COUNTIF(P2:P37,"<10")」
- U37セルの計算式は「=COUNTIF(P2:P37,">=90")」
- 「10点以上、20点未満」の人数を計算するには、10点以上の人数と20点以上の人数を使って、ある計算をすれば求められる

[次へ](#)進んでください。